

2021年1月5日

報道関係者 各位

ソニー損害保険株式会社

～2021年 新成人のカーライフ意識調査～

ソニー損害保険株式会社（代表取締役社長：丹羽 淳雄、本社：東京都大田区、以下「ソニー損保」）は、2020年12月2日～12月9日の8日間、今年の新成人（2000年4月2日～2001年4月1日生まれ）に対し、新成人のカーライフ意識調査をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効回答を得ました。

【新成人の免許保有／車利用実態】

今年の新成人の運転免許保有率は51.3%、マイカー所有率は14.4%

車を持ちたいと思った理由 1位「移動が楽だから」2位「買い物の際に便利だから」

車を持たない理由 1位「購入費用を負担に感じるから」2位「維持費がかかるから」

【新成人の車に対する意識】

「同年代で車を所有している人は格好いい」44.8%

「若者の車離れとは自分自身のことだと思う」37.8%

「車を所有する経済的な余裕がない」61.9%

「メーカーにもっと若者向けの車を作ってほしい」41.9%

「ドライブレコーダーは必需品だと思う」74.2%

【レンタカー・カーシェアリングに対する意識・実態】

「レンタカーを利用したことがある」運転免許保有者の32.0%、都市部居住者では40.5%

「レンタカー・カーシェアリングの利用で、車を欲しいと思う気持ちが強くなったことがある」

レンタカー・カーシェアリング利用経験者の41.5%

【自動車のサブスクに対する意識】

「自動車のサブスクを利用したい」50.0%

自動車のサブスクを利用したい理由 1位「初期費用を抑えられるから」

自動車のサブスクを利用したいと思わない理由 1位「仕組みがわからないから」

【カーライフのコスト意識】

新成人の車購入予算 平均181万円、昨年より3万円ダウン

カーライフのためにかけられる金額 平均14,947円/月、5年続いた減少傾向は一服

【新成人に人気の車ランキング】

新成人が現在欲しい車 1位「アクア（トヨタ）」2位「BMW」3位「フォルクスワーゲン」

【新成人のドライブとエンタメ】

車を購入したらドライブ中にかけたい音楽 2年連続で1位「嵐」2位「Official 髭男dism」

理想の自動車学校の教官のイメージに合う有名人

男性回答1位は「大泉洋さん」、女性回答1位は「木村拓哉さん」

一緒にドライブに行きたい新成人 男性回答・女性回答とも「浜辺美波さん」がダントツ

男性回答2位「与田祐希さん」3位「幾田りらさん」、

女性回答2位「岡田結実さん」3位「濱田龍臣さん」

アンケート総括

【新成人の免許保有／車利用実態】**◆今年の新成人の運転免許保有率は51.3%、マイカー所有率は14.4%**

今年の新成人（2000年4月2日～2001年4月1日生まれ）1,000名に、普通自動車運転免許を持っているか聞いたところ、「普通自動車免許を持っている（オートマ限定）」は36.8%、「普通自動車免許を持っている（マニュアル）」は14.5%で、合計した『運転免許保有率』は51.3%でした。また、「現在、教習所へ通っている（オートマ限定）」は3.9%、「現在、教習所へ通っている（マニュアル）」は1.0%、「時期は決まっていないが、取得予定」は26.0%で、合計した『運転免許取得予定』の割合は30.9%となりました。

取得した免許の種類を男女別にみると、「普通自動車免許（オートマ限定）」は男性27.8%、女性45.8%と、女性のほうが18.0ポイント高くなりました。他方、「普通自動車免許（マニュアル）」は男性23.6%、女性5.4%と、男性のほうが18.2ポイント高くなりました。

また、『運転免許保有率』を居住地別にみると、都市部（※1）では45.1%、地方では53.6%と、地方のほうが8.5ポイント高くなりました。（図1）

『運転免許保有率』を前回の調査結果と比較すると、2020年56.4%→2021年51.3%と、5.1ポイント下降しました。（図2）

※1：市・区における人口ランキングの上位都市である、北海道札幌市、東京都23区、神奈川県横浜市、愛知県名古屋、京都府京都市、大阪府大阪市、兵庫県神戸市、福岡県福岡市を「都市部」とし、それ以外を「地方」とした。

次に、全回答者1,000名に、車（バイクを除く）を持っているか聞いたところ、「自分の車を持っている」は14.4%となり、「自分の車を購入する予定がある」は9.4%、「購入する予定はないが、いずれは欲しい」は44.1%で、合計した『購入予定または意向あり』は53.5%となりました。マイカー所有者は少数派でしたが、多くの方がこれからマイカーを所有することに対し前向きに考えていることがわかりました。他方、「購入するつもりはない」は32.1%となりました。

マイカー所有率（「自分の車を持っている」の割合）を男女・居住地別にみると、男性では都市部は15.9%、地方は13.2%と、都市部のほうがやや高くなったのに対し、女性では都市部は7.7%、地方は18.3%と、地方のほうが高くなりました。（図3）

◆車をもちたいと思った理由 1位「移動が楽だから」2位「買い物の際に便利だから」

車を持っている方と購入する予定がある方を合わせた679名に、自分の車をもちたいと思った理由を聞いたところ、「移動が楽だから」（59.9%）が最も多く、次いで、「買い物の際に便利だから」（38.6%）、「レジャー・旅行の際に便利だから」（33.9%）となりました。車の利便性の高さが所有動機になっている方が多いようです。以降、「通勤・通学で必要だから」（32.4%）、「運転・ドライブが好きだから」（23.1%）が続きました。

居住地別にみると、「通勤・通学で必要だから」（都市部23.5%、地方34.9%）は都市部と比べて地方のほうが11.4ポイント高くなりました。（図4）

◆車を持たない理由 1位「購入費用を負担に感じるから」2位「維持費がかかるから」

一方、車を購入するつもりがない方321名に、自分の車をもちたいと思わない理由を聞いたところ、「購入費用を負担に感じるから」（53.3%）が最も多く、次いで、「燃料代や修理費など、維持費がかかるから」（35.8%）、「交通事故・トラブルを起こしたくないから」（33.0%）、「車以外の移動手段が充実しており、車に乗る必要性がないから」（29.9%）、「交通事故・トラブルに遭いたくないから」（27.7%）となりました。経済的な理由のほか、交通事故・トラブルを回避したいといった理由や、そもそも車を必要としないといった理由が上位に挙がりました。

居住地別にみると、「車以外の移動手段が充実しており、車に乗る必要性がないから」（都市部 34.5%、地方 27.2%）と「手入れが大変そうだから」（都市部 26.9%、地方 21.3%）は地方と比べて都市部のほうが5ポイント以上高くなりました。（図5）

【新成人の車に対する意識】

◆「同年代で車を所有している人は格好いい」44.8%

全回答者1,000名に、車に対する意識について、それぞれどの程度あてはまるか聞きました。

《車に興味がある》では、「とてもあてはまる」は11.1%、「ややあてはまる」は25.1%で、合計した『あてはまる』は36.2%、「全くあてはまらない」は22.9%、「あまりあてはまらない」は18.6%で、合計した『あてはまらない』は41.5%となりました。『あてはまる』の割合を男女別にみると、男性42.6%、女性29.8%と、男性のほうが12.8ポイント高くなりました。

《同年代で車を所有している人は格好いいと思う》では、『あてはまる』は44.8%、『あてはまらない』は23.9%、《車を所有している大人（自分より上の世代の人）は格好いいと思う》では、『あてはまる』は48.5%、『あてはまらない』は21.4%となりました。

『あてはまる』の割合を男女別にみると、《同年代で車を所有している人は格好いいと思う》では男性41.6%、女性48.0%、《車を所有している大人（自分より上の世代の人）は格好いいと思う》では男性43.2%、女性53.8%と、どちらも女性のほうが高くなりました。新成人の女性には、車を持つ人に対し憧れを抱いている方が多いようです。（図6）

◆「若者の車離れとは自分自身のことだと思う」37.8%

◆「車を所有する経済的な余裕がない」61.9%

◆「メーカーにもっと若者向けの車を作してほしい」41.9%

全回答者1,000名に、若者の車離れに関する意識や車に対する希望について、それぞれどの程度あてはまるか聞きました。

《「若者の車離れ」とは自分自身のことだ》では、『あてはまる』は37.8%となりました。新成人には、「車離れ」を自覚している方が少なくないようです。

《車に乗る必要性を感じない》では、『あてはまる』は27.2%、《車を所有しないことは合理的だと思う》では、『あてはまる』は27.4%となりました。

また、《車を所有する経済的な余裕がない》では、『あてはまる』は61.9%となりました。車を持ちたいと思っていても、経済的なゆとりがないためにあきらめてしまっている方が多いのではないのでしょうか。

そのほか、《メーカーにもっと若者向けの車を作してほしい》では、『あてはまる』は41.9%となりました。（図7）

◆「ドライブレコーダーは必需品だと思う」74.2%

全回答者1,000名に、カーナビやドライブレコーダーといったカーアクセサリーに対する意識について、それぞれどの程度あてはまるか聞きました。

《カーナビはスマホのナビアプリで十分だと思う》では、『あてはまる』は36.4%となりました。

また、《ドライブレコーダーは必需品だと思う》では、『あてはまる』は74.2%となりました。あおり運転などの危険運転や交通事故に遭遇したときに、車内外の状況を記録した映像が役に立つと考えている新成人が多いのではないのでしょうか。（図8）

【レンタカー・カーシェアリングに対する意識・実態】

◆「レンタカーを利用したことがある」運転免許保有者の32.0%、都市部居住者では40.5%

◆「レンタカー・カーシェアリングの利用で、車を欲しいと思う気持ちが強くなったことがある」

レンタカー・カーシェアリング利用経験者の41.5%

続いて、免許を持っている方513名に、レンタカーやカーシェアリングの利用実態について質問しました。

まず、レンタカーを利用したことがあるか聞いたところ、「ある」は32.0%となりました。

利用経験率（「ある」の割合）を居住地別にみると、都市部では40.5%、地方では29.3%と、都市部のほうが11.2ポイント高くなりました。

また、カーシェアリングを利用したことがあるか聞いたところ、「ある」は9.6%となりました。

利用経験率を居住地別にみると、都市部では19.8%、地方では6.4%と、こちらも都市部のほうが高くなりました。（図9）

運転免許保有者で、レンタカーまたはカーシェアリングのいずれか1つでも利用したことがある方171名（※2）に、《車を購入する前の試し乗りとしてレンタカーやカーシェアリングを利用したこと》があるか聞いたところ、「ある」は22.8%となりました。

経験率（「ある」の割合）を男女別にみると、男性29.0%、女性15.4%と、男性のほうが13.6ポイント高くなりました。

また、《レンタカーやカーシェアリングを利用したことで、車を欲しいと思う気持ちが強くなったこと》があるか聞いたところ、「ある」は41.5%、《レンタカーやカーシェアリングで乗った車が気に入り、同じ車を欲しいと思ったこと》があるか聞いたところ、「ある」は29.8%となりました。

経験率を男女別にみると、《レンタカーやカーシェアリングを利用したことで、車を欲しいと思う気持ちが強くなったこと》では男性44.1%、女性38.5%、《レンタカーやカーシェアリングで乗った車が気に入り、同じ車を欲しいと思ったこと》では男性32.3%、女性26.9%と、どちらも男性のほうが5ポイント以上高くなりました。（図10）

経験率を前回の調査結果と比較すると、《レンタカーやカーシェアリングを利用したことで、車を欲しいと思う気持ちが強くなったこと》では6.0ポイント上昇（2020年35.1%→2021年41.5%）、《レンタカーやカーシェアリングで乗った車が気に入り、同じ車を欲しいと思ったこと》では4.9ポイント上昇（2020年24.9%→2021年29.8%）しました。（図11）

※2：レンタカーとカーシェアリングの両方を利用したことがある人42名、レンタカーのみを利用したことがある人122名、カーシェアリングのみを利用したことがある人7名の合計。

【自動車のサブスクに対する意識】

◆「自動車のサブスクを利用したい」50.0%

◆自動車のサブスクを利用したい理由 1位「初期費用を抑えられるから」

◆自動車のサブスクを利用したいと思わない理由 1位「仕組みがわからないから」

定額料金を支払うことで自動車を一定期間利用できるサービス「自動車のサブスクリプションサービス（サブスク）」が、新しい自動車の利用方法として注目されています。

全回答者1,000名に、自動車のサブスクを利用したいと思うか聞いたところ、「利用したいと思う」と「利用したいと思わない」がどちらも50.0%で拮抗する結果となりました。

男女別にみると、「利用したいと思う」は男性55.2%、女性44.8%と、男性のほうが10.4ポイント高くなりました。男性には、自動車のサブスクの利用に対し、前向きな方が多いようです。（図12）

自動車のサブスクを利用したいと思う方500名に、その理由を聞いたところ、「初期費用を抑えられるから」（39.2%）が最も多くなりました。初めにまとまった出費をしなくてもよいというところに魅力を感じている方が多いようです。以降、「維持費を抑えられるから」（28.2%）、「購入するより手続きが簡単だから」（16.2%）が続きました。（図13）

他方、自動車のサブスクを利用したいと思わない方500名に、その理由を聞いたところ、「仕組みがわからないから」（45.8%）が最も多くなりました。サブスクのシステムがよくわからないために、利用に消極的になっている方が多いようです。以降、「気をつかいながら乗らなければいけなそうだから」（36.4%）、「自動車に乗るなら購入したいから」（25.4%）が続きました。

男女別にみると、「自動車に乗るなら購入したいから」（男性 29.5%、女性 22.1%）と「禁止されている行為があるから（喫煙、ペット乗車など）」（男性 12.5%、女性 5.8%）、「一定期間同じ車に乗らなければいけないから」（男性 9.4%、女性 4.3%）は女性と比べて男性のほうが5ポイント以上高く、「仕組みがわからないから」（男性 42.4%、女性 48.6%）は男性と比べて女性のほうが5ポイント以上高くなりました。（図 14）

【カーライフのコスト意識】

◆新成人の車購入予算 平均 181 万円、昨年より 3 万円ダウン

車がある生活（カーライフ）にかかる費用について質問しました。

まず、運転免許保有者と取得予定者 822 名に、車（バイクを除く）を持っているか聞いたところ、「自分の車を持っている」は 17.4%、「自分の車を購入する予定がある」は 11.3%、「購入する予定はないが、いずれは欲しい」は 52.6%で、合計した『車の所有に肯定的』な方の割合は 81.3%となりました。（図 15）

運転免許保有者と取得予定者 822 名のうち、『車の所有に肯定的』な 668 名に、車を購入する際の予算（上限額 ※車所有者は購入金額）を聞いたところ、平均額は 181 万円でした。

車を購入する際の予算の平均額を男女別にみると、男性では 200 万円、女性では 159 万円となりました。

購入予算の平均額を過去の調査結果と比較すると、2020 年 184 万円→2021 年 181 万円と、3 万円の減少となりました。（図 16, 17）

◆カーライフのためにかけられる金額 平均 14,947 円/月、5 年続いた減少傾向は一服

全回答者 1,000 名に、車がある生活（カーライフ）をするにあたり、どの程度の手取り月収が必要だと思うか聞いたところ、「16 万円～20 万円」（26.6%）や「26 万円～30 万円」（17.8%）との回答が多く、平均額は 23.1 万円でした。（図 18）

また、車がある生活（カーライフ）をするにあたり、1 ヶ月いくらまでならかけられるか聞いたところ、平均額は 14,947 円でした。

平均額を過去の調査結果と比較すると、2015 年 18,656 円→2016 年 18,079 円→2017 年 17,624 円→2018 年 17,331 円→2019 年 16,894 円→2020 年 14,763 円→2021 年 14,947 円と、昨年まで続いていた減少傾向が一服する結果となりました。（図 19, 20）

さらに、もしも親や親戚などから車の購入資金を援助してもらえるなら、いくらくらい援助してほしいか聞いたところ、「10 万円以下」（33.3%）や「31 万円～50 万円」（18.9%）、「51 万円～100 万円」（20.8%）に回答が集まり、平均額は 73.7 万円でした。（図 21）

【新成人に人気の車ランキング】

◆新成人が現在欲しい車 1 位「アクア（トヨタ）」2 位「BMW」3 位「フォルクスワーゲン」

新成人にはどのような車が人気なのでしょう。

運転免許保有者と取得予定者 822 名のうち、『車の所有に肯定的』な 668 名に、現在欲しい車を聞いたところ、1 位は「アクア（トヨタ）」（16.5%）、2 位は「BMW（1 シリーズ/3 シリーズなど）」（12.9%）、3 位は「フォルクスワーゲン（ゴルフ/ポロなど）」（11.2%）、4 位は「プリウス（トヨタ）」（10.9%）、5 位は「レクサス（RX/NX など）」（10.3%）となりました（※3）。

男女別にみると、男性では 1 位「アクア（トヨタ）」（19.7%）、2 位「BMW（1 シリーズ/3 シリーズなど）」（17.4%）、3 位「レクサス（RX/NX など）」（14.0%）、4 位「メルセデスベンツ（A クラス/C クラス

など) (13.8%)、5位「フォルクスワーゲン（ゴルフ/ポロなど）」(13.5%)となりました。女性では1位「タント（ダイハツ）」(13.5%)、2位「アクア（トヨタ）」(12.8%)、3位「N-BOX（ホンダ）」(10.9%)、4位「プリウス（トヨタ）」(9.9%)、5位「ノート（日産）」(9.6%)となりました。（図 22, 23）

※3：海外メーカーの自動車やレクサスなどの高級車ブランドは、車種別ではなく、メーカー（ブランド）別で選択肢を提示し、聴取した。

【新成人のドライブとエンタメ】

◆車を購入したらドライブ中にかけたい音楽 2年連続で1位「嵐」2位「Official 髭男dism」

◆理想の自動車学校の教官のイメージに合う有名人

男性回答1位は「大泉洋さん」、女性回答1位は「木村拓哉さん」

最後に、車でのドライブとエンタメについて聞きました。

全回答者1,000名に、車を購入したらどのアーティストの曲を“ドライブ中にかけたい”と思うか聞いたところ、1位は「嵐」(33件)、2位は「Official 髭男dism」(17件)、3位は「[Alexandros]」「米津玄師」（いずれも12件）となりました。

前回の調査結果と合わせてみると、2年連続で1位は「嵐」、2位は「Official 髭男dism」でした。令和の新成人には、嵐や髭男の曲をかけながらドライブを楽しみたいという方が多いようです。（図 24, 25）

また、理想の自動車学校の教官のイメージに合う有名人を聞いたところ、男性回答では1位は「大泉洋さん」(12件)、2位は「松岡修造さん」(11件)、3位は「木村拓哉さん」(10件)、女性回答では1位は「木村拓哉さん」(26件)、2位は「田中圭さん」(17件)、3位は「櫻井翔さん」(16件)となりました。（図 26）

◆一緒にドライブに行きたい新成人 男性回答・女性回答とも「浜辺美波さん」がダントツ

男性回答2位「与田祐希さん」3位「幾田りらさん」、

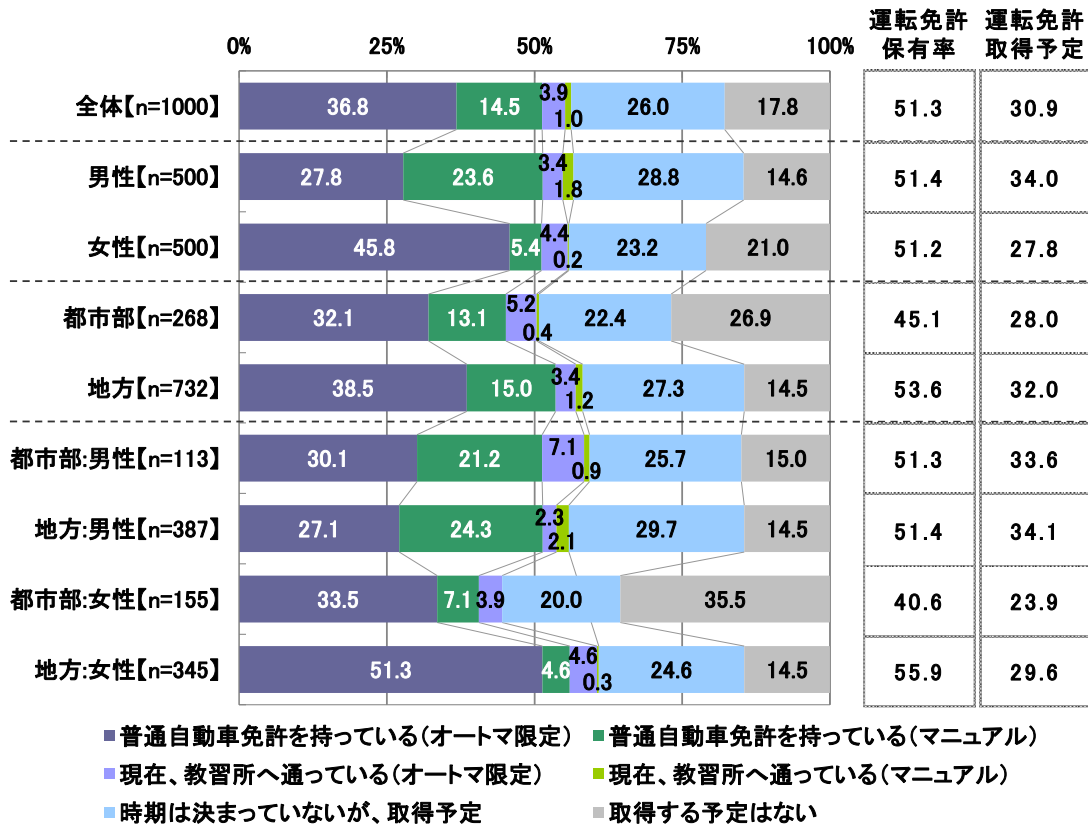
女性回答2位「岡田結実さん」3位「濱田龍臣さん」

今年の新成人（同じ学齢：2000年4月2日～2001年4月1日生まれ）で、一緒にドライブに行きたい有名人を聞いたところ、1位は「浜辺美波さん」(28.7%)、2位は「与田祐希さん」(11.7%)、3位は「岡田結実さん」(9.2%)となりました。今年、ドラマや映画で引っ張りだこだった浜辺美波さんがダントツという結果でした。

男女別にみると、男性回答・女性回答とも「浜辺美波さん」（男性28.0%、女性29.4%）がダントツでした。2位以降の回答をみると、男性回答では2位「与田祐希さん」(15.4%)、3位「幾田りらさん」(10.4%)、女性回答では2位「岡田結実さん」(9.8%)、3位「濱田龍臣さん」(8.4%)となりました。（図 27, 28）

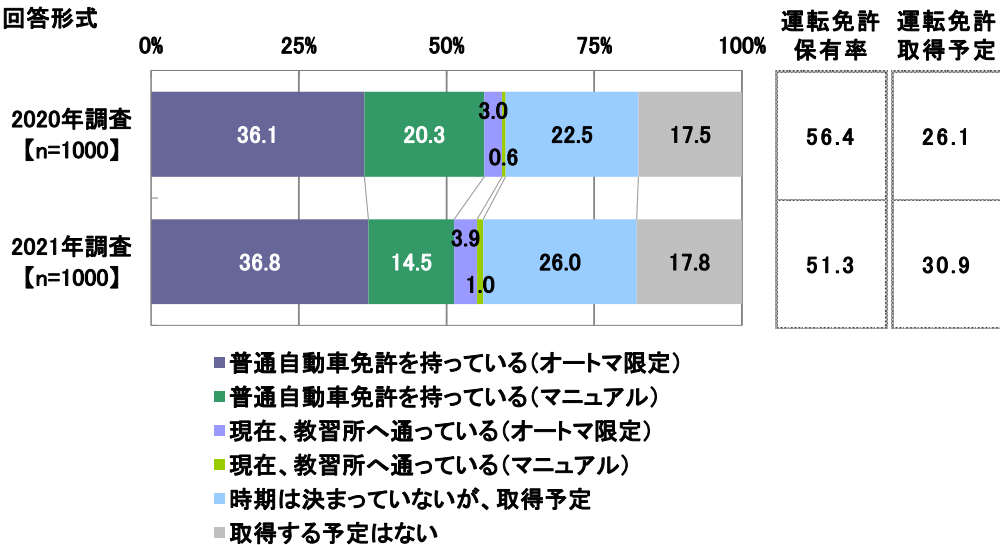
(図 1)

◆普通自動車運転免許を持っているか ※単一回答形式



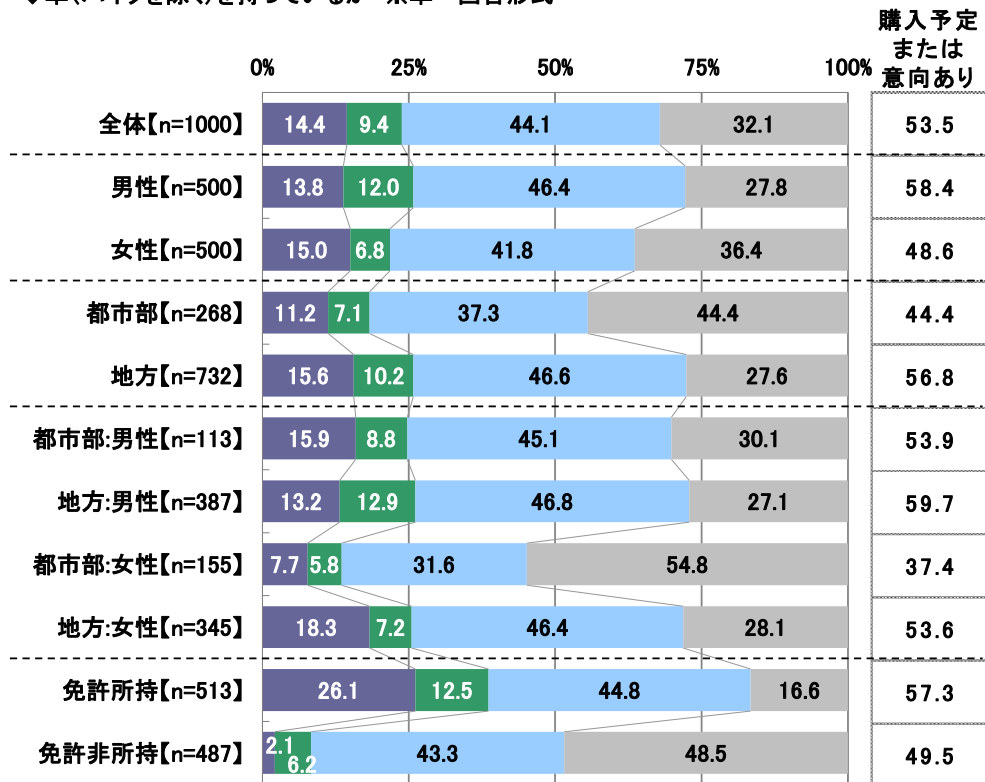
(図 2)

◆普通自動車運転免許を持っているか 【2020年～2021年:経年比較】
※単一回答形式



(図 3)

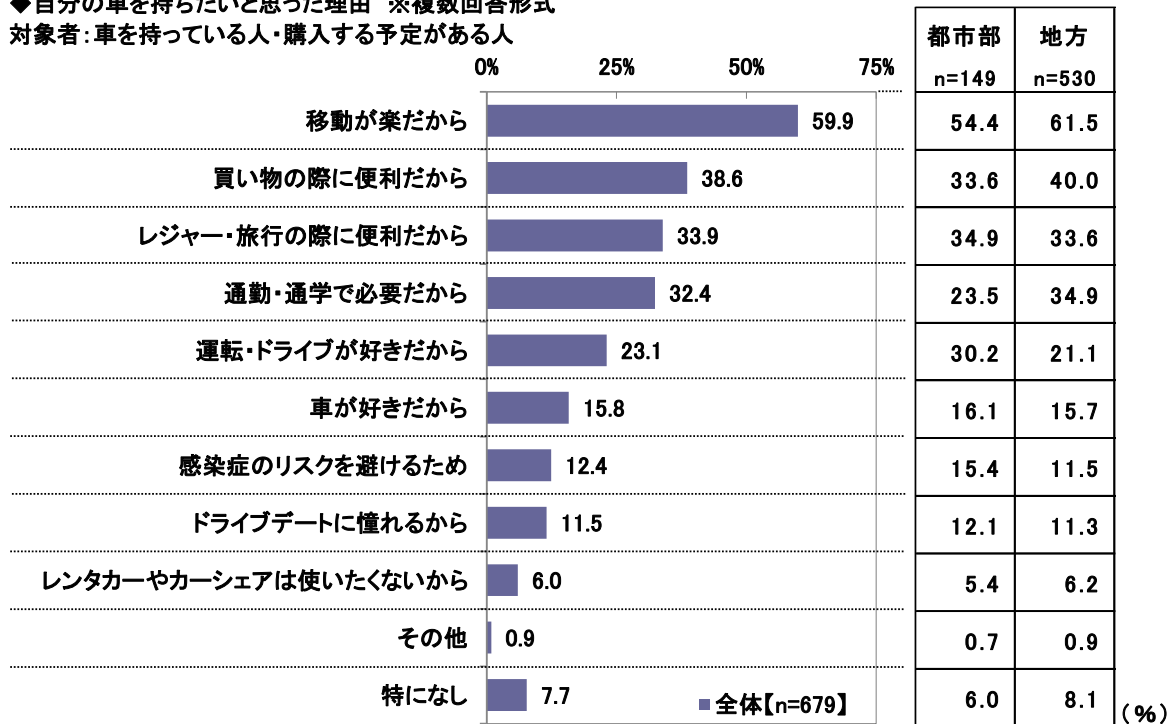
◆車(バイクを除く)を持っているか ※単一回答形式



- 自分の車を持っている
- 自分の車を購入する予定がある
- 購入する予定はないが、いずれは欲しい
- 購入するつもりはない

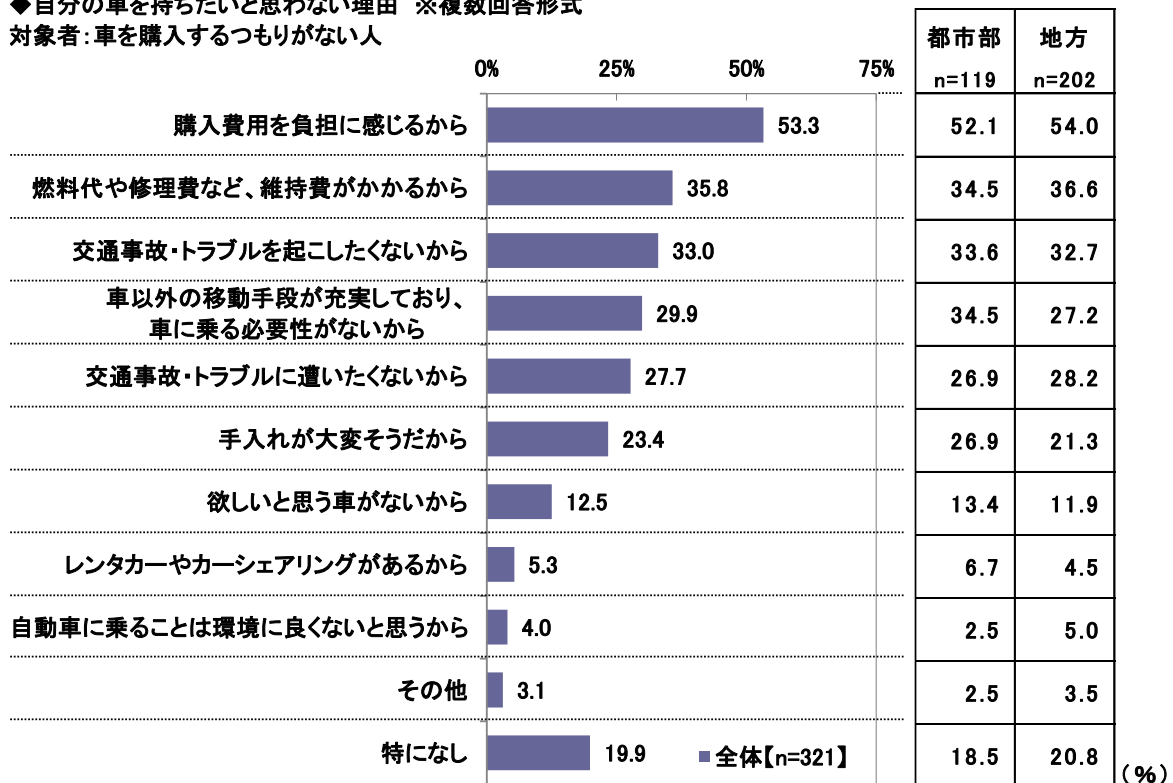
(図 4)

◆自分の車を持ちたいと思った理由 ※複数回答形式
対象者: 車を持っている人・購入する予定がある人

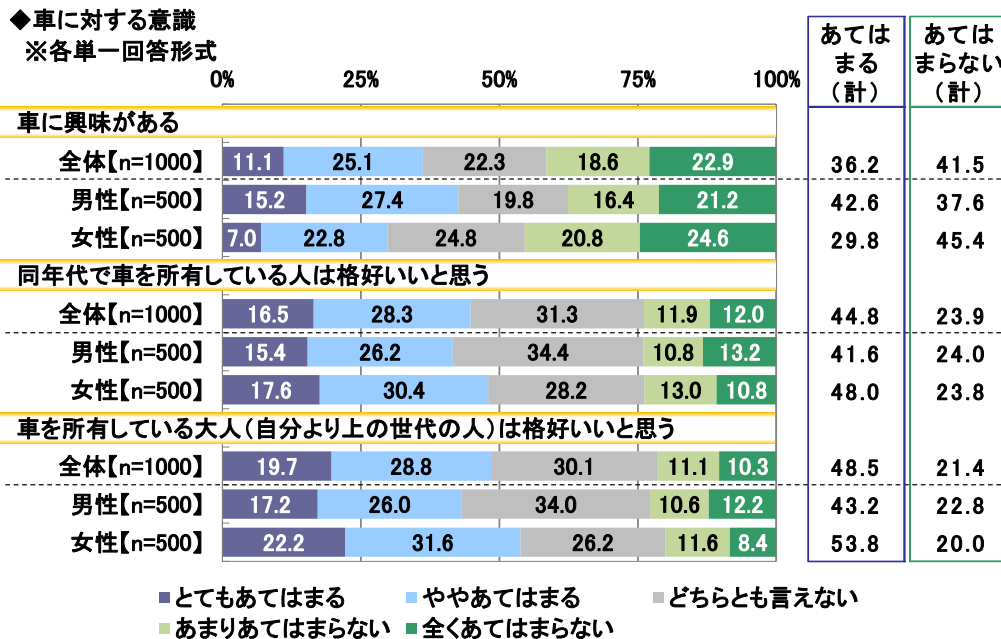


(図 5)

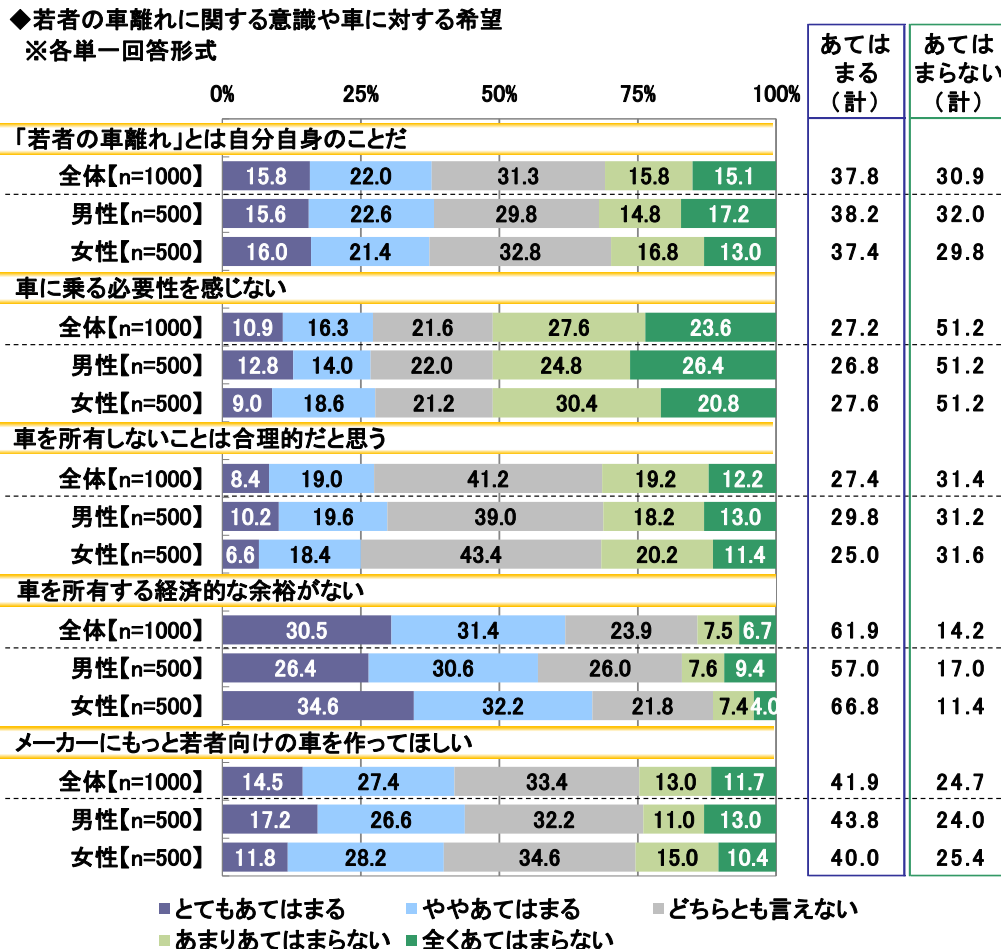
◆自分の車を持ちたいと思わない理由 ※複数回答形式
対象者: 車を購入するつもりがない人



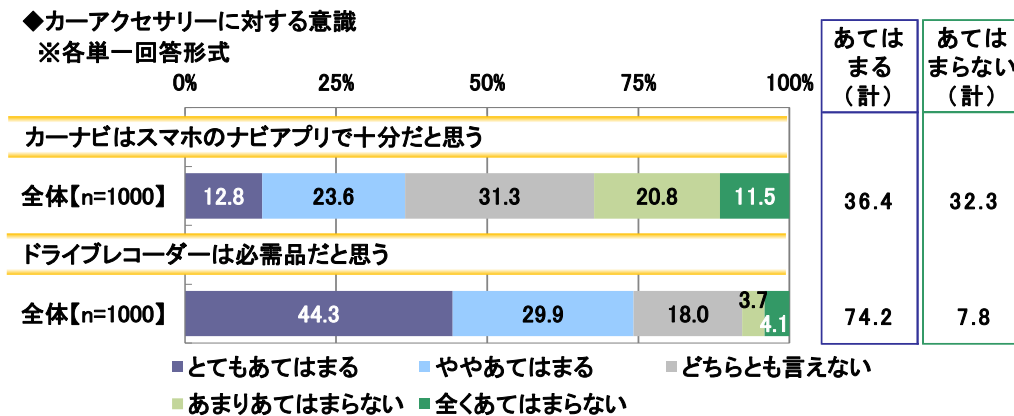
(図 6)



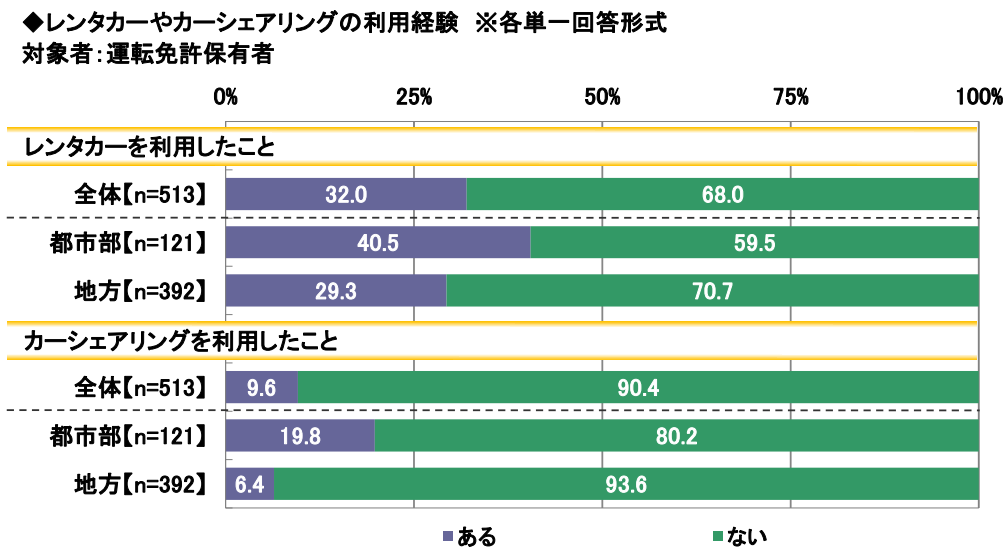
(図 7)



(図 8)



(図 9)

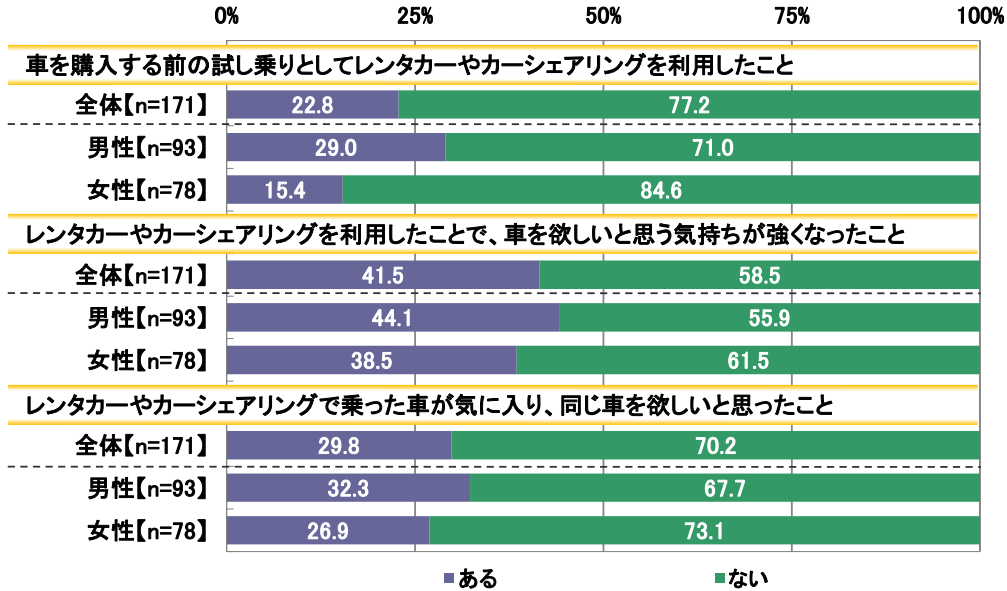


(図 10)

◆レンタカーやカーシェアリングに関する経験 ※各単一回答形式

対象者: 運転免許保有者で、

レンタカーまたはカーシェアリングのいずれか1つでも利用したことがある人



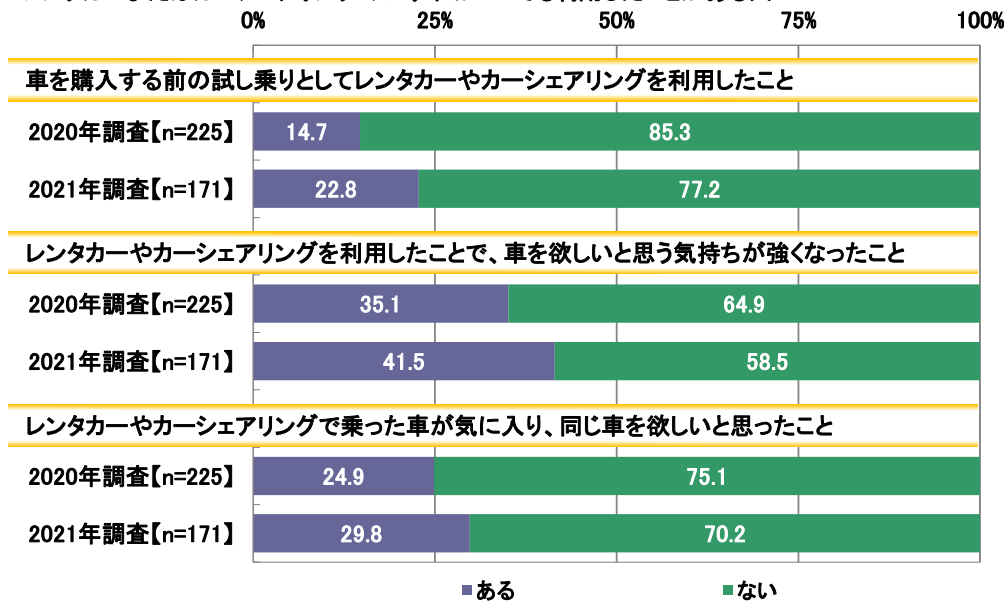
(図 11)

◆レンタカーやカーシェアリングに関する経験 【2020年～2021年: 経年比較】

※各単一回答形式

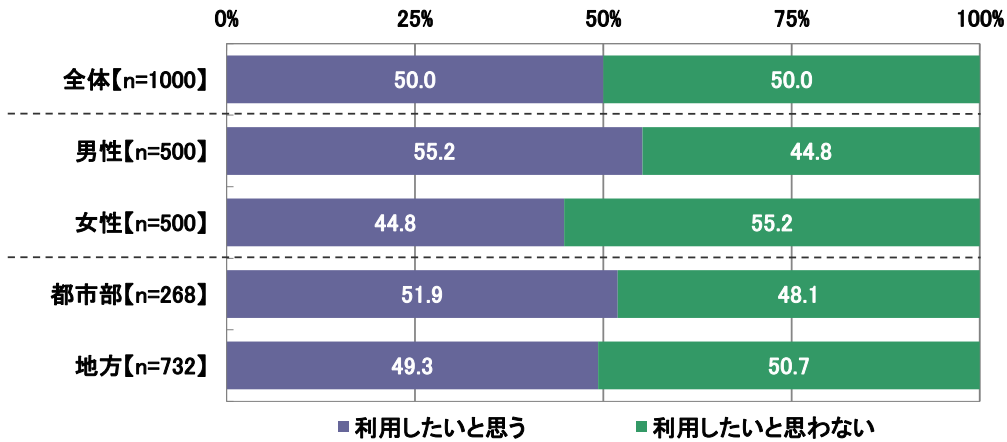
対象者: 運転免許保有者で、

レンタカーまたはカーシェアリングのいずれか1つでも利用したことがある人



(図 12)

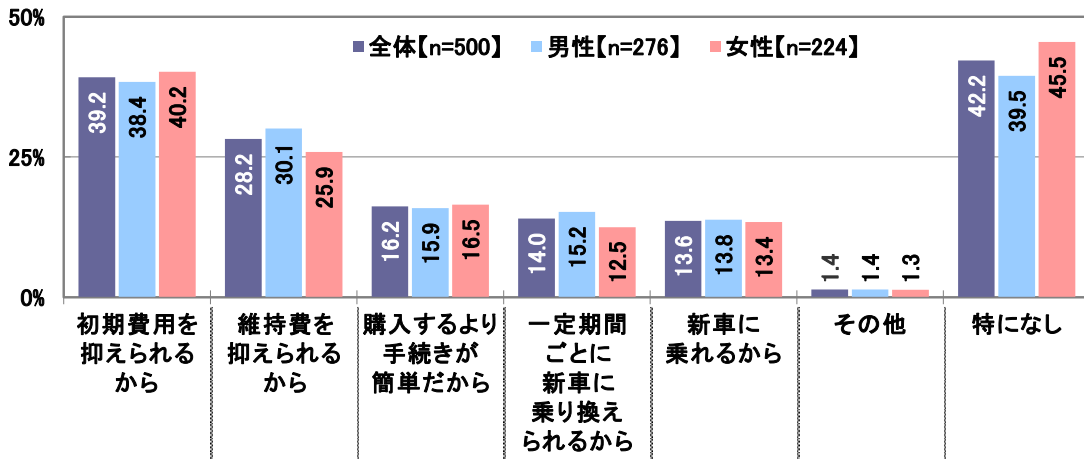
◆自動車のサブスクを利用したいと思うか



(図 13)

◆自動車のサブスクを利用したいと思う理由 ※複数回答形式

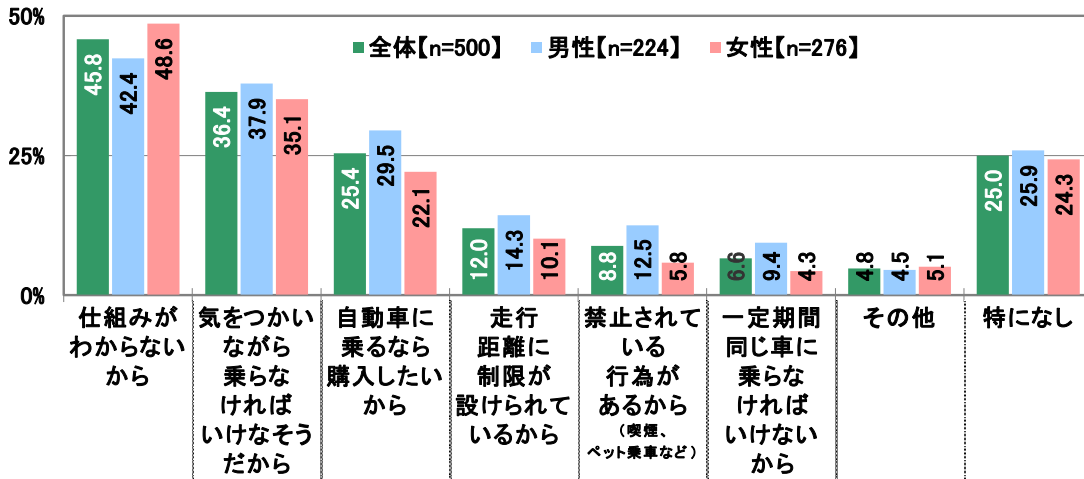
対象者: 自動車のサブスクを利用したいと思う人



(図 14)

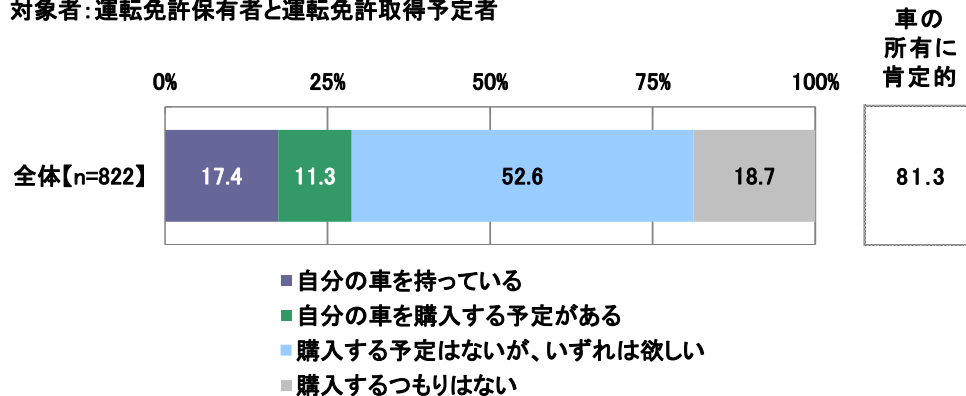
◆自動車のサブスクを利用したいと思わない理由 ※複数回答形式

対象者: 自動車のサブスクを利用したいと思わない人



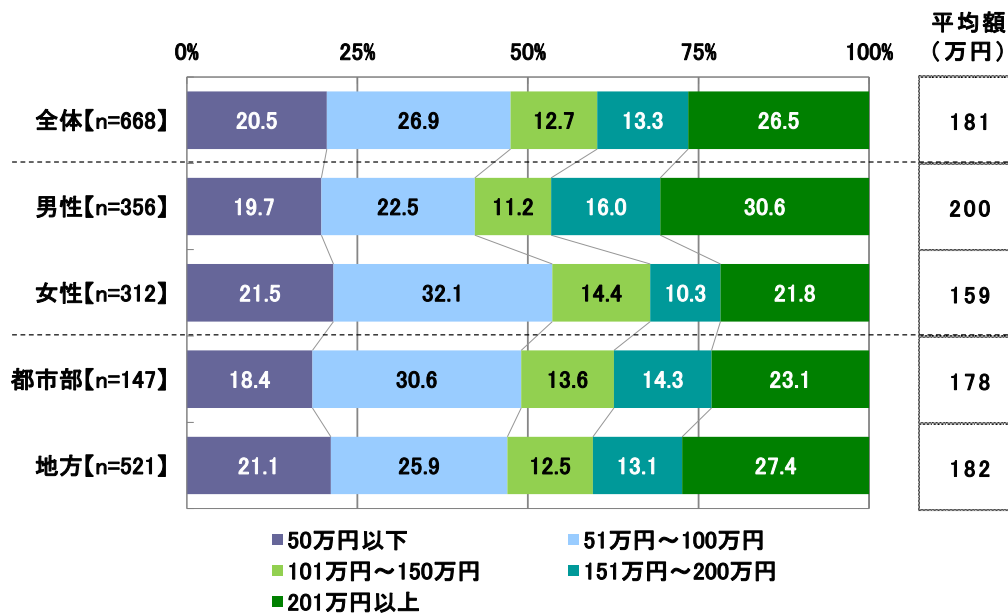
(図 15)

◆車(バイクを除く)を持っているか ※単一回答形式
対象者: 運転免許保有者と運転免許取得予定者



(図 16)

◆車を購入する際の上限予算 ※自由回答形式
対象者: 運転免許保有者/取得予定者で、車の所有に肯定的な人



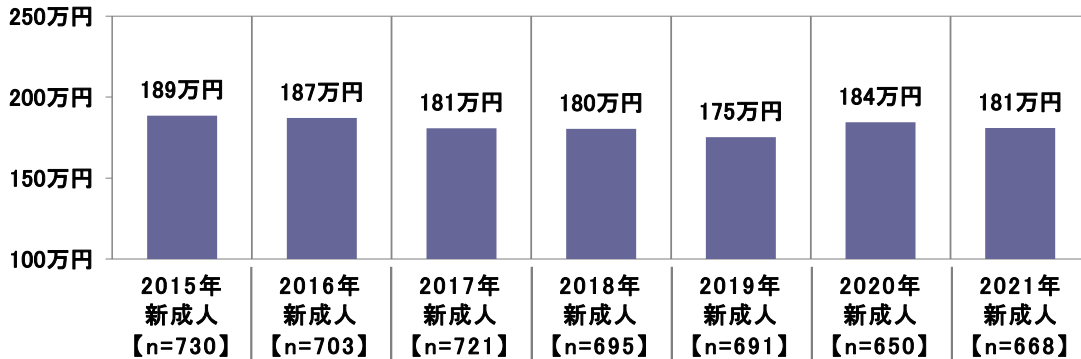
(図 17)

◆車を購入する際の上限予算の平均

【2015年～2021年：経年比較】

対象者：運転免許保有者/取得予定者で、車の所有に肯定的な人

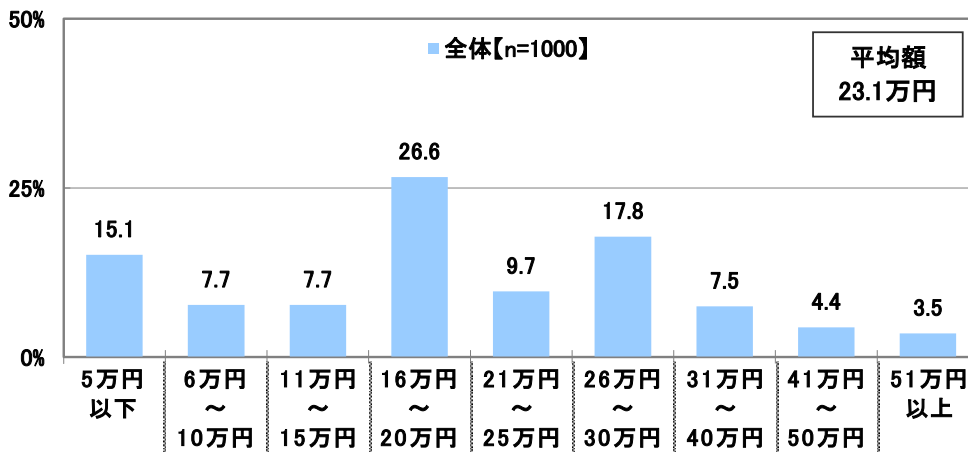
■平均額(万円)



(図 18)

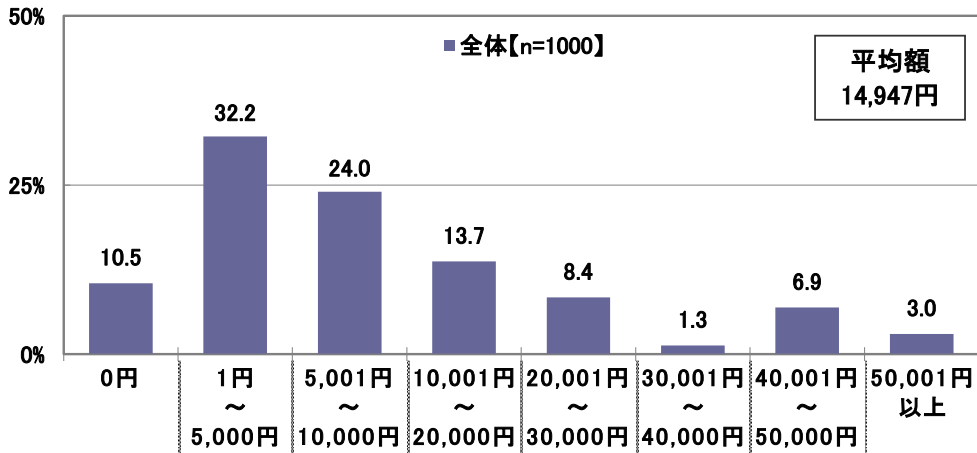
◆「車がある生活(カーライフ)」をするにあたり、どの程度の手取り月収が必要だと思うか

※自由回答形式



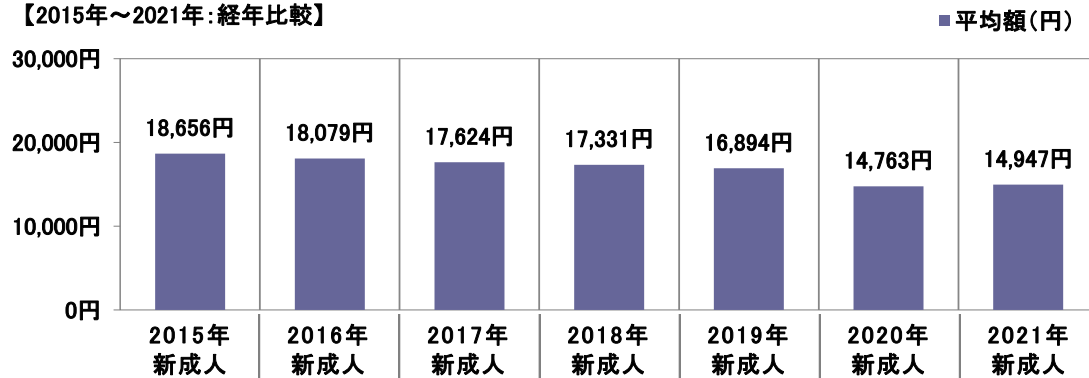
(図 19)

◆「車がある生活(カーライフ)」をするにあたり、1ヵ月いくらまでならかけられるか
※自由回答形式



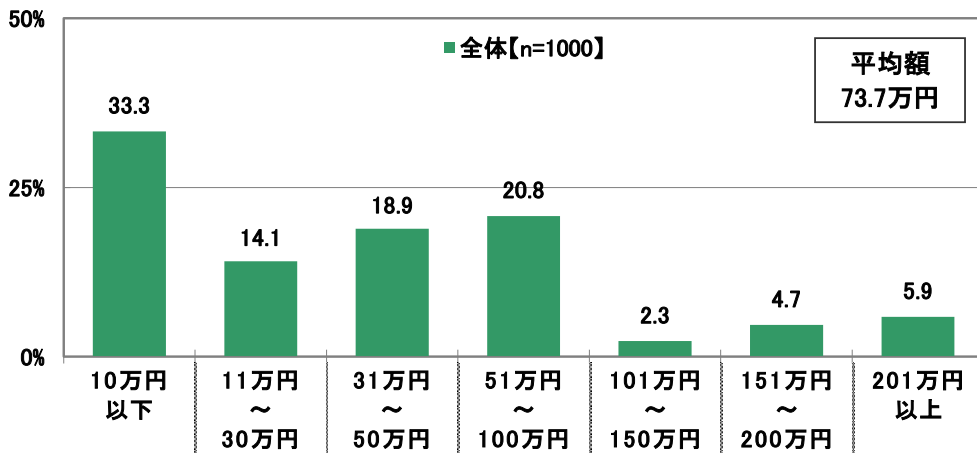
(図 20)

◆「車がある生活(カーライフ)」をするにあたり、1ヵ月にかけられる金額(平均)
【2015年~2021年:経年比較】



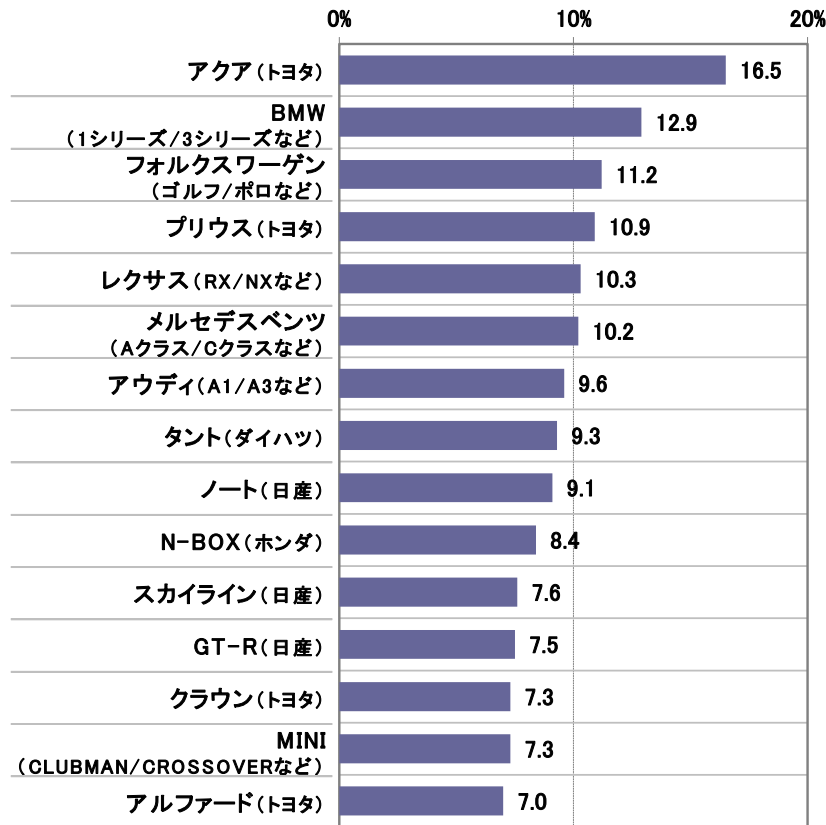
(図 21)

◆親や親戚などから車の購入資金を援助してもらえらるなら、いくらくらい援助してほしいか
※自由回答形式



(図 22)

◆現在欲しい車 ※複数回答形式
 対象者:運転免許保有者/取得予定者で、車の所有に肯定的な人
 ※上位15位まで抜粋



■全体【n=668】

(図 23)

◆現在欲しい車 ※複数回答形式
 対象者:運転免許保有者/取得予定者で、車の所有に肯定的な人

男性【n=356】 (%)			女性【n=312】 (%)		
1位	アクア(トヨタ)	19.7	1位	タント(ダイハツ)	13.5
2位	BMW (1シリーズ/3シリーズなど)	17.4	2位	アクア(トヨタ)	12.8
3位	レクサス(RX/NXなど)	14.0	3位	N-BOX(ホンダ)	10.9
4位	メルセデスベンツ (Aクラス/Cクラスなど)	13.8	4位	プリウス(トヨタ)	9.9
5位	フォルクスワーゲン (ゴルフ/ポロなど)	13.5	5位	ノート(日産)	9.6
6位	アウディ(A1/A3など)	12.1	6位	フォルクスワーゲン (ゴルフ/ポロなど)	8.7
7位	プリウス(トヨタ)	11.8	7位	BMW (1シリーズ/3シリーズなど)	7.7
8位	スカイライン(日産)	11.5		キューブ(日産)	7.7
9位	GT-R(日産)	11.2	9位	MINI (CLUBMAN/CROSSOVERなど)	7.4
10位	ポルシェ (911カレラ/カイエンなど)	9.8	10位	アウディ(A1/A3など)	6.7

※上位10位まで抜粋

(図 24)

◆車を購入したら“ドライブ中にかきたい”と思うアーティスト
 ※自由回答形式
 ※上位10位まで抜粋

全体【n=1000】		(件数)
1位	嵐	33
2位	Official髭男dism	17
3位	[Alexandros]	12
	米津玄師	12
5位	ゆず	11
	湘南乃風	11
7位	サザンオールスターズ	10
8位	back number	8
	Mr. Children	8
	あいみょん	8
	スピッツ	8

(図 25)

◀前回調査▶

◆車を購入したら“ドライブ中にかきたい”と思うアーティスト
 ※自由回答形式
 ※上位10位まで抜粋

全体【n=1000】		(件数)
1位	嵐	45
2位	Official髭男dism	18
3位	サザンオールスターズ	17
4位	スピッツ	16
5位	米津玄師	15
6位	ゆず	14
7位	back number	12
8位	ONE OK ROCK	9
	湘南乃風	9
10位	あいみょん	8

(図 26)

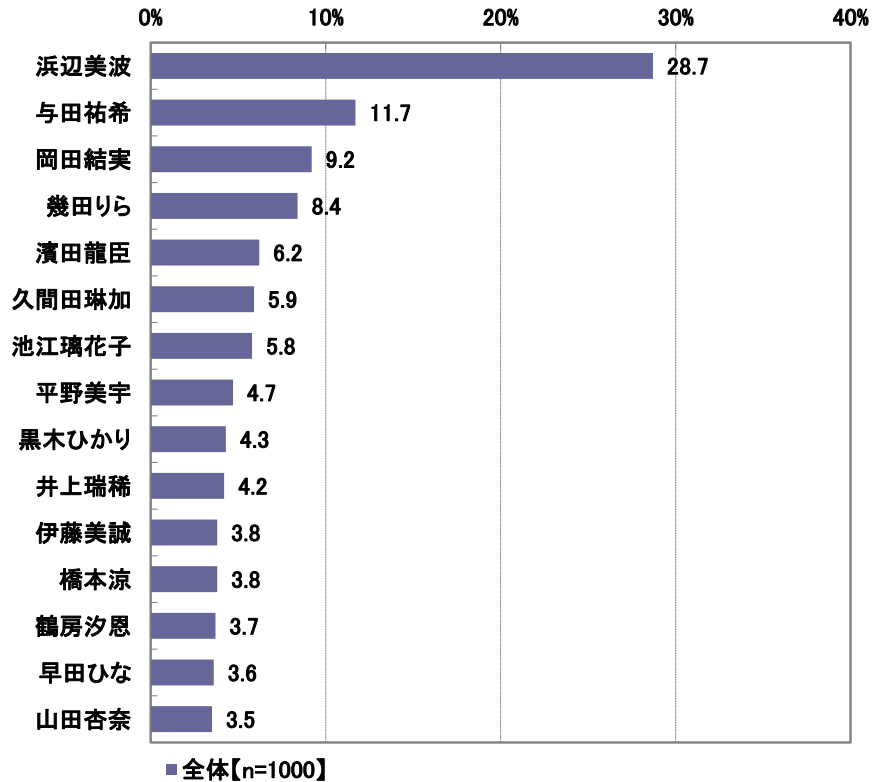
◆理想の自動車学校の教官のイメージに合う有名人 ※複数回答形式
 ※上位10位まで抜粋

男性【n=500】			女性【n=500】		
		(件数)			(件数)
1位	大泉洋	12	1位	木村拓哉	26
2位	松岡修造	11	2位	田中圭	17
3位	木村拓哉	10	3位	櫻井翔	16
4位	ムロツヨシ	7	4位	高橋一生	11
5位	橋本環奈	6	5位	西島秀俊	10
6位	菅田将暉	5		中村倫也	10
	明石家さんま	5	7位	ムロツヨシ	7
8位	イチロー	4		大泉洋	7
	タモリ	4		竹野内豊	7
	賀来賢人	4	10位	岡田准一	6
	所ジョージ	4		松岡修造	6
反町隆史	4	竹内涼真		6	

(図 27)

◆同じ新成人(同じ学齢:2000年4月2日～2001年4月1日生まれ)で一緒にドライブに行きたい有名人 ※複数回答形式

※上位15位まで抜粋



(図 28)

◆同じ新成人(同じ学齢:2000年4月2日～2001年4月1日生まれ)で、一緒にドライブに行きたい有名人 ※複数回答形式

※上位10位まで抜粋

男性【n=500】			女性【n=500】		
順位	有名人	(%)	順位	有名人	(%)
1位	浜辺美波	28.0	1位	浜辺美波	29.4
2位	与田祐希	15.4	2位	岡田結実	9.8
3位	幾田りら	10.4	3位	濱田龍臣	8.4
4位	岡田結実	8.6	4位	与田祐希	8.0
5位	平野美宇	5.6	5位	久間田琳加	7.4
6位	黒木ひかり	5.4	5位	池江璃花子	7.4
	早田ひな	5.4		7位	井上瑞稀
6位	原田葵	5.4	8位	幾田りら	6.4
	山田杏奈	4.6	9位	鶴房汐恩	6.0
9位	山田杏奈	4.6	10位	橋本涼	5.4
10位	久間田琳加	4.4			

注：ニュースレターの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、
内訳の計と合計が一致しない場合や、合計しても100%とならない場合があります。

◆調査概要◆

- ◆調査タイトル：2021年 新成人のカーライフ意識調査
- ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
今年の新成人（2000年4月2日～2001年4月1日生まれ） 男性500名、女性500名
- ◆調査期間：2020年12月2日～12月9日
- ◆調査方法：インターネット調査
- ◆調査地域：全国
- ◆有効回答数：1,000サンプル（有効回答から1,000サンプルを抽出）

- ◆実施機関：ネットエイジア株式会社

調査協力会社：ネットエイジア株式会社

■■会社概要■■

- 会社名：ソニー損害保険株式会社
- 代表者名：代表取締役社長 丹羽淳雄
- 設立：1998年6月10日
(ソニーインシュアランスプランニング株式会社として設立)
- 所在地：東京都大田区蒲田 5-37-1 アロマスクエア 11F
- 業務内容：損害保険業

会社および商品の詳細は <https://www.sonysonpo.co.jp/> をご覧ください。

■■利用条件■■

本記事内の図解／文章とも自由に転載いただくことが可能ですが、下記の利用条件をすべて満たす場合に限ります。なお、当社がふさわしくないと判断した場合は、掲載の中止を求めることがあります。

《利用条件》

- 1 情報の出典元として「ソニー損害保険株式会社」の名前を明記してください。
- 2 ウェブサイトで使用する場合は、出典元として、ソニー損保の自動車保険トップページへリンクを設置してください。

<https://www.sonysonpo.co.jp/auto/>

■■本調査に関するお問合せ窓口■■

ソニー損害保険株式会社 コンテンツ企画部 諫山 大樹
03-5744-0859
isayama-h@sonysonpo.co.jp
9:30～18:00（土・日・休日を除く）